

|       |                   |     |         |
|-------|-------------------|-----|---------|
| 受付番号  | 2021-54           |     |         |
| 許可番号  | 大歯医倫 第 111206-0 号 |     |         |
| 研究課題名 | 永久歯胚の発育の年代差に関する研究 |     |         |
| 研究責任者 | 阿部 洋子             | 申請者 | 阿部 洋子   |
| 研究終了日 | 2025 年 3 月 31 日   |     |         |
| 所属    | 小児歯科学講座           | 所属  | 小児歯科学講座 |
| 職名    | 講師                | 職名  | 講師      |
| 申請の概要 |                   |     |         |

日本人小児の永久歯の萌出時期に関しては日本小児歯科学会による全国調査の結果が 1988 年 8) と 2019 年 9) に報告されており、30 年間で永久前歯の萌出開始年齢は早くなり、犬歯や臼歯群の萌出開始年齢が遅くなっていることが示されている。このため永久歯胚の発育の年代変化の有無、現代小児の永久歯胚発育の様相を明らかにすることを目的として本研究を計画した。対象は 1980 年 1 月 1 日から 1987 年 12 月 31 日までに生まれた小児 (1980 年代群) と 2010 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までに生まれた小児 (2010 年代群) の満 3 歳～満 12 歳のうち、下顎の永久歯胚が鮮明なパノラマエックス線画像を抽出し、歯胚の発育程度の評価と歯胚の位置を評価する。調査画像の数は、両群とも男女別に下顎中切歯から第二大臼歯の 7 歯胚において各 20 人分とし、延べ計 (7 歯胚×20 人×10 年齢群×2 年代群×男女群) 5600 人分とする。本調査結果は臨床応用のみならず小児歯科学教育にも多大な貢献ができるものと期待される。